

## 財務の概要

平成 23 年度は収入面では効果的な投資による診療単価、病床稼働率アップなど確実な医療収入の増収を図ること、支出面では継続的に経常経費を削減することにより平成 22 年度と同水準の収支を確保することを目標とし、また退職金制度への移行に伴い、退職給与引当金の戻入収入を見込み、帰属収支差額 38 億円の収入超過予算としていました。平成 23 年度決算は、私大等経常費補助金の増収により補助金が、受託研究等の外部研究費の積極的な獲得により事業収入がそれぞれ予算を上回ったものの、医療収入が目標を大きく下回ったことや退職金制度変更に対する補填額が予算を上回ったことにより帰属収支差額は予算を 19 億 8 千 4 百万円下回る 18 億 2 千 4 百万円の収入超過、基本金を組入れた後の消費収支差額では 9 億 9 千 2 百万円の支出超過という結果となりました。